

# 令和8年度 練馬区立練馬東中学校 学校経営計画

練馬区立練馬東中学校長 荒井友香

## 1 学校経営の基本理念

- (1) 学校は、生徒の人格形成の過程に大きな影響をもつ機関であることを自覚し、組織的に教育目標の実現を目指す。
- (2) 学校を、生徒にとって心身ともに安全で、安心して自らの成長を実感できる場とすべく、教職員が一丸となって教育活動にあたる。
- (3) 学校は、すべての関与者が主体的に行動すべき場であることを自覚し、教師自身が生徒の手本となれるよう、自らの専門性と指導力、人間性を常に高めるべく、日々研鑽に努める。
- (4) 校長は、生徒、教職員のために全力で学校経営にあたる。また、学校で起きたすべての出来事は、校長の責任に帰する。

## 2 学校の教育目標

令和6年「第3次みどりの風吹くまちビジョン～アクションプラン～」が策定され、施策の柱1として「子どもたちの笑顔輝くまち」が示された。「練馬区教育・子育て大綱」の目標である「夢や希望をもち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成」を具現化し、自ら未来を創造する人を育成するために、教育目標に示した4つの「人」に求められる資質・能力の涵養に努める。

### 【教育目標】

「◇心豊かな人    ◇健康な人    ◇考える人    ◆共に生きる人（重点目標）」

## 3 目指す学校像

人権尊重の精神を踏まえ、世界の平和と人類の幸福を考え、行動することができる人間育成の基盤となる学校

## 4 育てたい人間像 ・ 目指す教師像 ・ 期待する保護者や地域の姿

- (1) 【育てたい人間像】「社会の中で他者と協働し、共に生きようとする人」
  - 必要な知識や技能を着実に身に付ける
  - 場面に応じて、言葉や技能を活用する

- 感情をコントロールする
- 見通しをもって計画的に行動する
- ルールを踏まえ、多角的な視点をもって、建設的に意見を述べる
- 目標に向けて、他者と協働する
- 意見の対立や見解の相違を創造につなげる

(2) 【目指す教師像】「生徒の心情を理解し、生徒の自己実現に向けて寄り添い、支援し続ける教師」

- 誠実に職務に向き合う
- 生徒に共感的に寄り添う
- 自らの専門性と指導スキルを向上させる
- 組織の一員として、多角的な視点を持ち建設的に意見を述べる
- 社会の動向を注視し、学校経営に積極的に参画する
- 教育の充実のために創造的なアイデアに挑戦する
- 相互利益を目指し、多様な人材と協働する

(3) 【期待する保護者や地域の姿】

- 社会性の育成に向けて学校と連携・連絡する
- 我が子の成長を喜び、家庭を心の充電場所とする
- 建設的な意見を持ち、積極的・協力的に学校と関わる
- 自らの心身の健康を保ち、生徒を温かく見守る

5 目指す学校像・育てたい人間像を達成するための中期経営目標

人間尊重の精神を基盤に、生涯学習の基礎を培うという視点に立って、以下の事項を基本方針と基本方針として教育活動を推進する。

具体的な取組、達成目標を個々に設定し、各分掌・学年・各分掌・学年・特別委員会、教科等のチームで共通理解を図りながら、個々の責任・役割を果たし、組織的に取組や目標指標を設定し、校務に取り組む。

(1) 「心豊かな人」【人権尊重・キャリア教育】

① 「特別の教科 道徳」を要とし、全教育活動を通して人間尊重の精神や公共の精神、規範意識などの道徳性を育む。また、考え、議論しながら、相手の立場や心情を理解させ、思いやりの心を育てるとともに、生徒が道徳的価値について理解し、実践

する態度を育てる。

- ② 学年・学級活動、学校行事、授業、部活動などを通して、規範意識を高め、利他の精神をもって相互に意見交流ができる集団づくりをしようとする心や態度を育てる。
- ③ 生徒会活動や学校行事等を通して、他と協力して取り組む喜びを味わせるとともに、責任感や最後までやりぬく態度を育成し、自治能力を向上させる。
- ④ 生徒自身が、時や場に応じて、どのような行動が適切かを自分で考え、決めて、実行する場の設定を通じて、自己指導力の伸長を図る。
- ⑤ ゲストティーチャーによる講話等を通じて、良識ある社会人としての基礎・基本を身に付けさせ、自ら考えて行動できる生徒を育成する。

## （２）確かな学力の定着【学力向上】

- ① 1単位時間ごとの指導のねらいを明確にして評価と指導の一体化を進め、基礎的・基本的な学習の確実な定着を図る。
- ② 生徒の主体的・協働的な学びを促進する多様な学習形態や指導方法を工夫し、言語活動を充実させるとともに、思考力・判断力・表現力を伸長する。
- ③ 総合的な学習の時間では、「いのち」を全校テーマとし、体験的な学習や課題を設定した調べ学習・協働学習・発表等を通して、学び方やものの考え方、表現力を身に付けさせる。また、社会的・職業的に自立した人間としての在り方や生き方を考えさせ、夢や目標をもち、自己実現に向けて努力し続ける意欲や態度を育てる。
- ④ 各種学力調査等の結果を活用し、調査診断・計画・指導・評価・改善の学習サイクルを確立する。

## （３）健康・体力の向上【体力向上】

- ①保健体育・技術家庭・特別活動と関連付け、望ましい食習慣の形成や健康増進に対する意識を高め、実践させる。
- ② 日常生活・保健体育の授業・部活動などを通して、発達段階に応じに応じて、生徒個々に目標をもたせ、基礎的な体力や運動能力を向上させる。
- ③ 運動・スポーツ活動を通し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培う。
- ④ 安全教育・防災教育を通じて、さまざまな場面を想定しながら、自ら危険を回避する能力の育成を図る。の育成を図る。

#### (4) すべての生徒に向けた支援【外部・地域との協働等】

- ① 近隣小学校、高等学校と教職員の意見交換の機会をもつ等の連携を一層充実させる。特に、いじめの未然防止や解消、不登校児童・生徒の出現防止や学校復帰について、これまで以上に連携を密にして取り組む。
- ② 生徒一人ひとりの特性や状況に基づき、本人と保護者のニーズをそれぞれ確認しながら、関係機関と連携し、合理的な配慮・支援体制を構築する。
- ③ 特別な支援を必要とする生徒への理解を深め、
- ④ 地域コーディネーターを中心に、保護者や地域の人的・物的教育資源を有効活用した教育活動を推進する。教育活動を推進する。
- ⑤ 学校評議員等様々な機会に、学校への評価を求め、その声に真摯に耳を傾け、学校運営に生かす。

#### (5) 学び続ける教職員【教員の資質能力の向上・働き方改革】

- ① 経営計画に基づき、主幹教諭を中心として、学年・分掌等の年間の活動を見通しながら、適切な進行管理を行う。
- ② 生徒の実態を踏まえた学年・学級経営案を作成し、学年・学級に具現化する。
- ③ 全教職員が、自己の役割を意識し、経営参画意識をもって、校務を正確かつ的確に処理する。
- ④ 全教員が、自己の業務に生かすための研究・研修に努め、実践に生かす。また、中堅教員を生かした OJT 体制を整備し、常に指導力を向上させる。
- ⑤ 教職員は都民の厳しい目が注がれていることを強く認識し、服務事故が起きないように意識できるよう、研修を実施するとともに、日々、サービスの厳正に務める。
- ⑥ 報告・連絡・相談を徹底すると共に、組織の一員として協働して業務にあたり、全教職員が心身ともに健康に業務にあたることのできる風通しの良い職場環境を構築する。

## 6 令和8年度の達成目標と具体的な手立て

### (1) 特色ある教育活動

達成目標	具体的な手立て
「共に生きる人」の意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で以下の教育活動を実施する                ところとからだの授業や生命の安全教育                ソーシャルスキルトレーニング                メディアリテラシー教育</li> </ul>
自分の良さを認める生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの行動を考え、決めて、実行する場の設定</li> <li>・教職員に相談しやすい環境、期間の設定</li> </ul>
いじめを認めない態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未然防止、早期発見・早期対応の徹底</li> <li>・「特別の教科 道徳」や特別活動を通じ、傍観者にさせない指導を行う</li> </ul>
基本的な生活習慣の定着と規律ある集団行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が率先して挨拶し、服装の乱れを見逃さない</li> <li>・規律ある始業、終業の挨拶をさせる</li> <li>・生徒を主体とした集団行動の場の設定</li> </ul>

### (2) 確かな学力の定着

達成目標	具体的な手立て
指導方法の共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 単位時間ごとのねらいを生徒に提示する</li> <li>・評価方法を明示し、説明責任をもつ</li> </ul>
ICT 機器の利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科特性に応じ、教員も生徒も活用を進める</li> <li>・自宅学習等へのタブレット端末の活用</li> </ul>
家庭学習の意識化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容は授業時間内で完結させる</li> <li>・家庭学習の目的を明示</li> </ul>

### (3) 健康・体力の向上

達成目標	具体的な手立て
健康保持への意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動を中心とした望ましい食習慣の形成や感染症予防を含めた啓発活動の実施</li> </ul>
安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的な避難訓練・安全指導の実施</li> <li>・多様な場面を想定した、危険回避の意識醸成</li> </ul>

個に応じたスポーツライフの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をもった体力向上の実施</li> <li>・障害スポーツを含めた様々な競技理解</li> <li>・一人ひとりの指向や特性に応じたスポーツライフの在り方について考えさせる時間の設定</li> </ul>
-----------------	---

#### (4) すべての生徒に向けた支援

達成目標	具体的な手立て
合理的配慮の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校・特別支援教育委員会の開催（隔週）</li> <li>・個への具体策の協議と本人、保護者との共有</li> </ul>
関係諸機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSW、子ども家庭支援センター等との情報共有</li> <li>・民生児童委員との意見交換の場の設定</li> </ul>
教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての生徒の居場所づくりの推進</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点に立った教室環境整備</li> </ul>
保護者・地域との情報共有の即時化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月以降の発行物を原則電子配信化</li> <li>・紙媒体は、校内に専用の配布場所を設置</li> </ul>

#### (5) 目指す教師像の具現化【教員の資質・能力の向上】

達成目標	具体的な手立て
指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員による研究授業の実践</li> <li>・アレルギー対応等各種研修を含めた校内研修の充実</li> <li>・中堅教諭を講師としたOJT体制の整備</li> </ul>
服務規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務研修を年3回以上実施</li> </ul>

#### (6) 良好な職場環境の構築

達成目標	具体的な手立て
組織としての意思決定の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹教諭を中心とした業務体制への転換</li> <li>・報告・連絡・相談の徹底</li> </ul>
業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Classroom や sigfy の活用とデータ整理の徹底</li> </ul>
教職員が働きやすいと感じる職場風土の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間勤務の教員との面談による要因の把握と具体的な改善策の提示</li> <li>・スクールロイヤーの活用によるカスタマーハラスメントの防止</li> </ul>